授業科目名・形態	統合実習Ⅱ（地域包括）　実習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	渡邉 知子　他	実務経験の有無	有	開講期	４年前・後期
科目ナンバリング	N7-4020npmht				

【授業の主題】

修得した看護管理の知識と技術を応用展開し、看護・保健・福祉の実践活動について広い視点で理解する。自ら選択した領域で、地域で生活する人々の実際を知り、必要とされる看護・保健・助産の望ましい在り方を考え、地域における医療チームのチームアプローチについて理解を深めことで、看護職と多職種および他施設との連携と協働の重要性を考察し、自身の看護観を深める。

【到達目標】

1．地域で行われている看護活動とそのマネジメントおよび福祉との協働を学ぶ。
2．地域に暮らす対象者とその家族の実際を知り、地域に根差した看護援助の提供方法を学ぶ。
3．地域における看護職とその他の医療職者・福祉職との連携について学ぶ。
4．地域包括ケアシステムでの看護職の役割と機能の実際を学ぶ。
5．地域包括ケアシステムでの看護職と多職種および他施設との連携と協働の重要性を考察する。

【授業計画・内容】　詳細は統合実習Ⅱの実習要項を参照

実習場所：大館市・鹿角市の医療施設、大館市・北秋田市の訪問看護ステーション、大館市・能代市の地域包括支援センター、大館市内の介護老人保健施設 など

【授業実施方法】

臨地実習と学内カンファレンス

【事前・事後学習】

これまで学習したすべての講義及び演習、また、すべての臨地実習の内容を整理するとともに、各科目において学習した地域における生活の継続に必要な支援について確認してください。また、1週間につき、20時間の自主学修時間を行ってください。

【主な関連する科目】　全ての看護学に関する授業・演習及び臨地実習

【教 科 書 等】 これまでの看護学全般の授業でのテキストおよび資料、図書館の蔵書などを活用してください。

【参考図書】 適宜提示します。

【成績評価方法】　実習記録（80%）、実習態度・カンファレンスなどへの参加態度（20%）等による総合的評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

脳外科病棟、および、リハビリテーション病棟の勤務時に自宅や介護施設へ移動する際の看護援助を行ってきました。また、在宅失語症者の介護負担観の研究や外来通による日常生活への影響の研究から、健康障害と生活障害の両方をもち、医療施設から介護施設や地域宅へと生活の場を変更する際の患者と家族が生活を再構築するためのシームレスな援助の必要性と難しさを明らかにしました。

【学生へのメッセージ】

生活者である患者と家族が地域で安全・安楽な生活を構築するための地域包括ケアシステムの中で看護職が担う役割を学び、シームレスな援助を提供することの必要性を知ることで、利用者と他職種の期待に応えることのできる看護職を目指しましょう。